アジア州

名前

問1　インドでは情報通信技術（ICT）産業が急速に発展していますが、その要因の一つとして、数学の教育水準が高いことのほかに、技術者の多くが共通の言語としてある外国語を使いこなせることが挙げられます。かつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、ビジネスや教育の場で広く普及しているこの言語は何ですか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）

1. 英語
2. プログラミング言語
3. ヒンディー語
4. フランス語

問2　中国の社会経済指標において、広大な農地面積を有しながらも1人あたりの国民総所得（GNI）が急増し、同時に年少人口の割合が低下している背景として、最も適切な理由はどれですか。（2024年 徳島県公立入試 類似）

1. 急激なインフレーションにより国民の購買力が低下し、子供を育てる経済的余裕が社会全体で失われたため
2. 主要な輸出産業を農業から石油資源の採掘へと切り替え、所得水準の向上と引き換えに教育環境が後退したため
3. 市場経済の導入による工業化で所得が向上した一方で、長期間の一人っ子政策により出生率が抑制されたため
4. 内陸部の農地をすべて工業用地に転換したことで、農村部から都市部へ若年層が完全に流出したため

問3　アジアの国々のうち、国土の平均標高が低く平地が多いことや、年間を通じて気温が高く降水量が多い気候条件を生かして、米の生産が盛んに行われている南アジアの国はどこですか。（2023年 宮崎県公立入試 類似）

1. バングラデシュ
2. モンゴル
3. サウジアラビア
4. カザフスタン

問4　南アジア地域の文化的な背景について述べた文として、宗教と社会の関係から考えて適切なものを選択してください。（2024年 愛媛県公立入試 類似）

1. インドでは、人口の約8割を占めるヒンドゥー教が、多神教の性格を持ちながら社会の仕組みや伝統的な生活習慣の基盤となっている。
2. インドではイスラム教徒が国民の約80パーセントを占めているため、豚肉を食べることが禁じられている文化が主流である。
3. 南アジア全域においてキリスト教が最も優勢な宗教であり、かつての植民地支配の影響によりヨーロッパと全く同じ生活様式が普及している。
4. インドは世界最大の仏教徒人口を抱えており、国の政治や社会制度はすべて仏教の教えに基づいて運営されている。

問5　東南アジア諸国連合（ASEAN）の一員であるベトナムの経済的な特徴について、各国の経済状況を説明した次の文のうち、ベトナムに該当するものを一つ選びなさい。（2021年 新潟県公立入試 類似）

1. 外国からの直接投資や企業進出を積極的に受け入れることで、工業化を推進している。
2. ペルシア湾岸に位置する資源国であり、原油の輸出が国家財政の大部分を占めている。
3. アンデス山脈などの広大な高地において、伝統的な放牧を中心とした産業を営んでいる。
4. 欧州連合（EU）に加盟しており、共通通貨の導入によって近隣諸国との経済統合を進めている。

問6　1970年代末から中国が進めた「改革開放」政策の中で、外国の資本や技術を導入することを目的として、税制面などで優遇措置を設けた沿海部の地域を何と呼びますか。（2026年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 特別行政区
2. 直轄市
3. 経済特区
4. 民族自治区

問7　中国のエネルギー事情について述べた次の文のうち、石炭の統計的な推移から読み取れる客観的な状況として正しいものはどれですか。（2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 経済成長が停滞したことで石炭の消費量が生産量を下回り、国内のエネルギー自給率は年々上昇している。
2. エネルギー消費の主役が石油から石炭へ交代したことで、石炭の国内自給率は100%を超えるようになった。
3. 石炭の生産量が消費量を常に上回っているため、余剰分をすべて近隣諸国へ輸出している。
4. 国内の石炭消費量が生産量を上回る状態となり、かつての石炭自給率100%超の状態が維持できなくなった。

問8　フィリピンは東南アジアの中でも、国民の多くがキリスト教（カトリック）を信仰しているという独特の文化を持っています。このような宗教分布が形成された歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. 17世紀にオランダの統治下に入り、ヨーロッパ諸国との交易を通じて信仰が広まったため。
2. 古くから大陸の仏教文化の影響を拒み、独自のキリスト教文化を発展させてきたため。
3. アメリカの植民地時代に、英語教育とともにカトリックが国教として定められたため。
4. 16世紀からスペインの植民地支配を受け、キリスト教の布教が強力に進められたため。

問9　フィリピンからインドネシアにかけての地域において、海面から急峻な山地がそびえ立ち、すぐにまた海へ沈むような複雑な地形断面が形成されている主な理由として、最も適切なものはどれですか。（2024年 兵庫県公立入試 類似）

1. 氷河期に形成された大陸氷河が移動する際に、大地を深く削り取ったから
2. 広大な熱帯雨林を流れる河川が、長年かけて平坦な土地を浸食したから
3. 古生代の造山運動によって形成されたなだらかな山地が、沈水して島々になったから
4. 環太平洋造山帯に位置し、プレートの運動による火山活動や地殻変動が活発だから

問10　日本がエネルギー資源の多くを依存している西アジアの地域について、その地理的特徴と原油輸出に関する記述として正しいものはどれですか。（2022年 滋賀県公立入試 類似）

1. アラビア半島の大部分を占めるサウジアラビアは、ペルシャ湾沿岸に位置し、日本にとって最大の原油輸入先となっている。
2. 日本はかつて西アジアからの輸入に頼っていたが、現在は北アメリカからの輸入がサウジアラビアを抜いて最大となっている。
3. アラブ首長国連邦は地中海沿岸に位置しており、パイプラインを用いてヨーロッパや日本へ原油を安定供給している。
4. 西アジアの産油国はすべて内陸国であり、鉄道を利用して東南アジアの港まで原油を運んでから日本へ輸出している。

問11　中国のシェンチェン（深セン）などに設置され、外資の導入や輸出振興を目的として、税制上の優遇措置などがとられている地域の名称を何といいますか。（2023年 岩手県公立入試 類似）

1. 民族自治区
2. 特別行政区
3. 租界
4. 経済特区

問12　中国ではアルミニウムの生産が盛んに行われていますが、その背景には自国の天然資源を活用したエネルギー供給の仕組みがあります。アルミニウムの製錬には膨大な電力が必要であることから、中国北東部に豊富に存在する資源と、それを利用した発電方法の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. ウランを利用した原子力発電
2. 原油を利用した火力発電
3. 石炭を利用した火力発電
4. 急峻な地形を利用した水力発電

答え合わせ・解説

問1	答え 1 英語	インドはかつてイギリスの植民地であったため、独立後も英語が準公用語として広く使われています。多言語国家であるインドにおいて、英語は異なる言語を話す人々を結ぶ共通語の役割を果たしており、特にアメリカ合衆国などの英語圏の企業と取引を行うICT産業において、意思疎通がスムーズに行えるという大きな利点となっています。
問2	答え 3 市場経済の導入による工業化で所得が向上した一方で、長期間の一人っ子政策により出生率が抑制されたため	中国では1970年代末から市場経済の仕組みを一部取り入れたことで、経済が急速に発展し、国民の所得水準が上昇しました。しかし、人口爆発を抑えるために1979年から2015年まで「一人っ子政策」が実施されたため、子供の数が劇的に減少し、統計上の年少人口の割合が低下しました。この極端な人口構成の変化は、将来の労働力不足や社会保障負担の増大という因果関係に繋がっています。
問3	答え 1 バングラデシュ	バングラデシュは国土に平地が多く、年間を通して高温で降水量が多い気候のため、米の生産に適しています。
問4	答え 1 インドでは、人口の約8割を占めるヒンドゥー教が、多神教の性格を持ちながら社会の仕組みや伝統的な生活習慣の基盤となっている。	インドの文化を理解する上で、ヒンドゥー教の存在は不可欠です。全人口の約8割という圧倒的な信仰者数を背景に、祭りや冠婚葬祭、日常の食事に至るまで強い影響を与えています。なお、インドは仏教の生誕地ですが、現在の信仰割合は1パーセントに満たず、イスラム教徒は約15パーセントで少数派（マイノリティ）にあたります。
問5	答え 1 外国からの直接投資や企業進出を積極的に受け入れることで、工業化を推進している。	ベトナムは、周辺国との経済的な連携を強化するためASEANに加盟し、外国企業の工場を積極的に誘致する政策をとっています。これにより、電気機器や衣類などの輸出が増加し、目覚ましい経済発展を遂げました。他の選択肢にある「ペルシア湾岸の資源国」は中東諸国、「共通通貨の導入」はユーロを採用する欧州諸国、「高地の放牧」は南米のアンデス山脈周辺国（ボリビアやペルーなど）の説明です。
問6	答え 3 経済特区	中国は1978年頃から従来の計画経済を見直し、市場経済の仕組みを取り入れる「改革開放」へと政策を転換しました。その中心的な施策として、海外からの投資や技術を呼び込むための窓口となる地域が設定されました。これが経済特区であり、主に南部の沿海部に設置されました。
問7	答え 4 国内の石炭消費量が生産量を上回る状態となり、かつての石炭自給率100%超の状態が維持できなくなった。	2010年時点の中国は、石炭の自給率が101%と国内需要を自給自足できていました。しかし、2012年以降は石炭の国内消費量が生産量を上回る数値を示しており、2014年には自給率が94%まで低下しました。これは「作る量よりも使う量の方が多い」状態に変化したことを意味しており、エネルギー資源の不足分を輸入によって補わざるを得なくなっている現状を反映しています。
問8	答え 4 16世紀からスペインの植民地支配を受け、キリスト教の布教が強力に進められたため。	フィリピンの宗教分布は、大航海時代以降のヨーロッパ諸国による植民地支配と密接に関係しています。16世紀にスペインがこの地域を領有した際、植民地支配の確立とともにカトリックの布教を推進した結果、現在のような宗教構成が作られました。国名自体も当時のスペイン皇太子フェリペに由来しています。
問9	答え 4 環太平洋造山帯に位置し、プレートの運動による火山活動や地殻変動が活発だから	東南アジアの島嶼部は環太平洋造山帯の一部であり、複数のプレートがぶつかり合う境界付近に位置しています。このため、火山活動や地震を伴う激しい地殻変動によって標高の高い山地が形成され、それらが海上に顔を出して島々を形作っているため、断面図では急峻な起伏が繰り返されることになります。
問10	答え 1 アラビア半島の大部分を占めるサウジアラビアは、ペルシャ湾沿岸に位置し、日本にとって最大の原油輸入先となっている。	日本の原油輸入は西アジア地域への依存度が非常に高く、なかでもサウジアラビアは2019年時点で全体の3分の1以上を占める最大の輸入先です。サウジアラビアはアラビア半島の広い面積を占め、ペルシャ湾に面した地域に主要な油田が分布しているのが地理的な特徴です。
問11	答え 4 経済特区	中国政府が1980年から設置を開始した、特定の条件を備えた地域を指します。シェンチェン、アモイ、スワトウ、珠海、海南島などが指定されており、外国企業の資本や高度な技術を導入することで、中国全体の経済発展を牽引する役割を果たしてきました。これらは「改革・開放」政策の象徴的な制度です。
問12	答え 3 石炭を利用した火力発電	アルミニウムはその製造工程において極めて多くの電力を消費するため「電気の缶詰」と呼ばれます。中国は世界最大のアルミニウム生産国ですが、その電力を支えているのは国内に豊富に埋蔵されている石炭です。特に北東部の炭田に近い地域では、石炭を用いた火力発電による安価な電力供給が可能であるため、アルミニウム工業が発展しました。